



▲『登別牛』を使ったカツサンドや登別産の牛乳と卵を使用したカップケーキなどを仲良く調理

登別の魅力を親子で調理
食育おやこ料理教室

1月11日(木)は市民会館、12日(金)・13日(土)はした21で、食育おやこ料理教室『モーツと登別を食べよう』(市・登別市食生活改善推進員協議会主催)を行いました。

同教室では、今年度、登別市市民自治推進委員会からの提案をもとに、地場食材を活用した料理教室として、地産地消の大切さについても感じてもらえるよう取り組んでいます。

初めて参加したという伊藤結さんと諒さんは、「カップケーキを鬼の顔にしたのが楽しかった」とお母さんと協力した料理に大満足。出来上がった品を笑顔で味わっていました。

上手にできた。私だけの本立て
冬休み工作教室

1月11日(木)、郷土資料館で『冬休み工作教室』(市教育委員会主催)を開催し、7人の子どもたちが、のこぎりや金づち、紙やすりなどを使って、自分だけの本立てを完成させました。

同行事は、小・中学生を対象に冬休みの期間中、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバー指導のもと、本立てや写真立てなどを手作りし、ものづくりの楽しさや難しさを学ぶことができる教室です。

青葉小学校1年生の山田史竜さんは「紙やすりをすごく頑張った。楽しくできた」と照れくさそうにみんなの前で発表してくれました。

1/11



▲最年少ながらも一生懸命頑張った本立てを完成させた山田さん(中央)

1/11~13



▲一糸乱れぬ行進を披露する消防団員

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



防火・防災活動への気持ちを新たに

1/10

平成30年登別市消防出初式

1月10日(水)、市民会館で『平成30年登別市消防出初式』(市主催)を開催しました。

駐車場で行った『消防職団員分列行進』では、約100人の消防職員・団員が力強い行進を見せ、集まった子どもたちから「かっこいい」と歓声が上がりました。

大ホールに会場を移し、西胆振篤土工事業連合組合や西胆振若鷺会、千歳篤土工事業組合、千歳若鷺会の皆さんが、伝統芸能の『木遣り歌』や『纏振り』、『はしご乗り』を披露。特に、威勢のいい掛け声に合わせて次々と妙技が繰り出された『はしご乗り』には、技が決まるたびに大きな拍手が沸き起こりました。

また、長年にわたり地域の安全のために貢献された延べ61人の消防団員に対し、登別市長表彰や北海道消防表彰、北海道消防協会表彰を行い、これからの活動への決意を新たにしました。



▲江戸時代の『火消』の技術をいかに伝える『はしご乗り』